

令和7年度 串木野特別支援学校の教育

1 学校教育目標

児童生徒の命と人権を守り、一人一人のもてる力や特性等を生かした教育を行い自立と社会参加に向けて「強く・明るく・豊かに・伸びゆく」児童生徒を育てる。

校訓 「つよく あかるく がんばろう」

めざす児童生徒像

- 【強く】 健康を大切にし、健やかな体や心を育む児童生徒
- 【明るく】 笑顔にあふれ、楽しさや喜びを共感し合える児童生徒
- 【豊かに】 自他の良さに気付き、生かしながら社会に参加する児童生徒
- 【伸びゆく】 目標に向かって努力し、学び続けながら成長する児童生徒



家庭や地域、関係機関と協働した支援体制づくり

めざす学校像

- 安心・安全な環境の下、子供たちが楽しく学ぶ学校
- 一人一人の教育的ニーズに応える学校
- 保護者や地域、同僚と協働する学校

支え合い、学び合う同僚性を基盤とした組織づくり

めざす教職員像

- 明るく、元気で、思いやりに満ちた教職員
- 専門性の向上のために、自己研さんに努め、児童生徒に学ぶ教職員
- 保護者や地域、同僚から信頼される教職員



2 学校経営方針

- (1) 公教育の基盤に立ち、教育公務員・特別支援学校教職員としての使命を自覚するとともに、職員相互の信頼と協力に基づく協働した取組を通して、本校教育目標及び努力点の具現化を目指す。
- (2) 小学部・中学部・高等部及び寄宿舎の特色を生かすとともに、学校の一体感を重視した教育計画の下に、児童生徒の発達の段階や生活年齢を踏まえた、きめ細かな指導・支援の充実を図る。
- (3) 命の尊さや思いやりの心を育む人権尊重の教育実践を進めるとともに、健康や安全に配慮した教育環境の整備及び一人一人ができる工夫に努める。
- (4) 特別支援教育のセンター的機能を発揮し、関係諸機関等との連携を密にした地域支援を進めながら地域社会から信頼される開かれた学校づくりを推進する。